

## 博士課程教育リーディングプログラム 事後評価結果

機 関 名	大阪大学	整理番号	K03
プログラム名称	ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム		
プログラム責任者	尾上 孝雄	プログラムコーディネーター	清水 浩

### 博士課程教育リーディングプログラム委員会における評価

#### [総括評価]

計画を超えた取組が行われ、優れた成果が得られていることから、本事業の目的を十分に達成できたと評価できる。

#### [コメント]

リーダーを養成するための学位プログラム、体制等の構築については、産業界、教員、学生が一体となって改良を行いながら広範かつ体系的な教育研究指導が実施され、各学生に対して、指導教員、他研究科教員に加えて産業界等の学外メンバーからなるトリプルアドバイザー制がとられている。また、外国籍特任教員の採用、教員からの連絡メールにおける日英併記、海外短期渡航支援（延べ110名）など、グローバルな教育研究・生活環境が構築されており評価できる。さらに Global Principal Investigator (GPI) スキル標準熟達度審査を実施して、学生の修得能力を総合的に評価する仕組みを構築しているなど高く評価できる。

修了者の成長とキャリアパスの構築については、様々な視点からのデータに基づき非履修生との客観的な比較がなされ、履修生は学会発表や発表論文の数が著しく多いなど、本プログラムの高い教育効果が認められ、高く評価できる。また、本プログラムの特色である「斉同熟議」に基づく異なる研究科の学生との融合研究の成果は、多くの国際的学術雑誌や国際学会において発表され、ヒューマンウェア体系化への基礎を築いている。同時に、大部分の第1期生の学位論文において、融合領域における視点が加わっており、学生の博士論文においても融合研究において培った力が生きていると言える。これらの具体的な成果を鑑みると計画を超えた取組であると高く評価できる。プログラムの成果把握の観点から、修了者の追跡検証を継続することが期待される。

事業の定着・発展については、学長の強いリーダーシップの下に、全学をあげた大学院教育改革を実施し、その一環として、支援期間終了後においても大学独自財源によってほぼ同レベルのプログラムを継続させることが項目別に具体的な予算額を踏まえて示されており、120名を受講対象者とした情報科学研究科における正規カリキュラム化に加えて、2,100名を受講対象者とした全学対象の高度副プログラムとして全学波及させるなど評価できる。